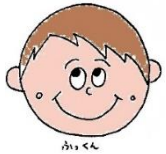


# 令和３年度寄宿舎だよりNo.４

令和４年３月１日発行　ふたば寄宿舎

## 寄宿舎３年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます

寄宿舎というと私は二つの言葉を思い出します。一つは「同じ釜の飯を食う」。もう一つは「寝食を共にする」です。寄宿舎ではまさに、生徒たちと寄宿舎指導員や舎監の先生方が、「同じ釜の飯を食い」「寝食を共に」生活してきました。そこでは、学校の教室とはまた違う絆と信頼関係が育まれたのではないでしょうか。寄宿舎の先生たちは皆、卒業する皆さんを応援しています。ぜひ、寄宿舎で学んだことをいかして、新しい場所で活躍して下さい。保護者の皆様には、これまでふたば寄宿舎にご支援とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

二葉高等特別支援学校　校長　木村一実

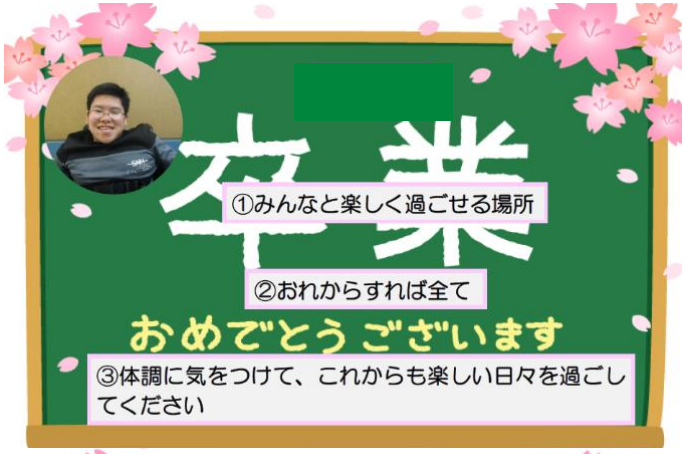
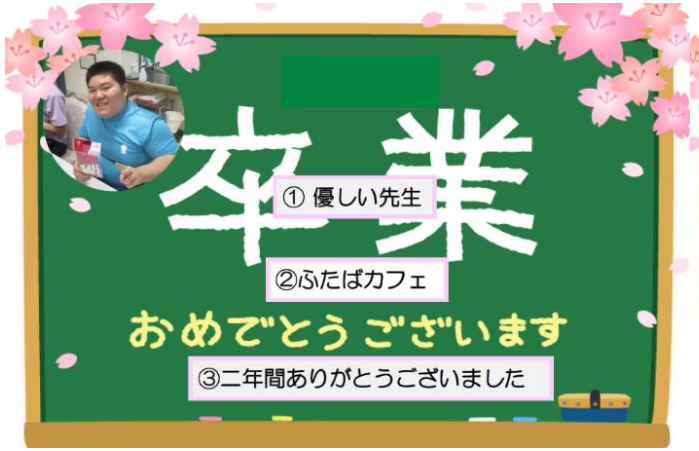
## 祝卒業

令和３年度は、中学部生徒３名が寄宿舎でお世話になりました。コロナ禍でありましたが、指導員の先生方に工夫をしてもらい、行事も実施することができました。また、二高特の先輩方には、多くの刺激を受けて、人として成長できたと感じています。

これから二高特を卒業して、ふたば寄宿舎を巣立つ皆さんは、寄宿舎で経験したこと、身につけたことをさらに発展させて、感謝の心を忘れずに、自分なりの生活を築いてくれることを願っています。保護者の皆様にも、緊急時の送迎や行事への協力をありがとうございました。

二葉特別支援学校　校長　筑井博之

# 卒業生の紹介

ふたば寄宿舎では７名が卒業します。
卒業おめでとうございます。

①ふたば寄宿舎といえば
②ふたば寄宿舎で一番の思い出は
③卒業にあたり一言